

平成 30 年度
主要事業の概要
(地方創生事業 以外)

説明資料

子ども・子育て支援関係分 抜粋

No.67	事業名 中学校への空調設備整備	30年度 予算額	157,700 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

中学校における教育環境の質的向上と、夏季の暑さ対策のため、既に普通教室等に空調設備のある但東中学校を除く8中学校に対して、普通教室等へ空調設備設置工事を行い、平成30年6月からの一斉稼働を目指す。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

平成28年度に実施設計を行い、平成29年度から30年度に空調設備設置工事を行う。

① 対象校

豊岡南中学校、豊岡北中学校、港中学校、城崎中学校、竹野中学校、
日高東中学校、日高西中学校、出石中学校 計8校

② 対象教室（ ）内は教室数

普通教室（62）、少人数教室（20）、特別支援教室（14）、特別教室〔理科室、
音楽室、美術室〕（32） 計128教室

(2) 事業期間

平成28年度～平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

319,391千円

（実施設計費 9,720千円 施工監理費 9,860千円、工事請負費 299,811千円）

3 30年度予算

(1) 予算額

157,700千円（施工監理費 7,400千円、工事請負費 150,300千円）

〈合併特例債97,300千円、過疎債55,400千円〉

(2) 事業内容

設置学校名及び設置教室数

（単位：室）

	普通教室	少人数 教室	特別支援 教室	特別教室	計
豊岡北中学校	16	4	2	7	29
港中学校	3	2	0	3	8
城崎中学校	3	2	2	3	10
竹野中学校	3	2	2	3	10

4 その他参考事項

今回4校に設置工事を行うことで、当初計画していた8校全ての工事が完了する。

工事完了予定 平成30年5月31日

稼働予定 平成30年6月

担当課名【教育総務課】（内線2701）

施策体系番号 4-1-3-1

No.68	事業名	学校施設屋内運動場等の 非構造部材改修	30年度 予算額	67,720 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

吊り天井を有しない中学校の屋内運動場及び武道場の非構造部材落下防止対策を行い、施設の安全性を高める。また、落下防止対策にあわせ照明器具のLED化を行い、維持管理経費の節減を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 対象校 豊岡南中学校、豊岡北中学校、港中学校、城崎中学校、竹野中学校、日高東中学校、日高西中学校、出石中学校、但東中学校 計9校
- ② 対象施設 屋内運動場（全校）、武道場（竹野中、出石中）
- ③ 主な工事概要
 - ア 照明器具の落下防止とLED化
 - イ 窓ガラスの飛散防止
 - ウ バasketゴール、その他設備等の落下防止対策

(2) 事業期間

平成29年度～平成31年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

172,084千円

（実施設計費10,154千円、施工監理費9,180千円、工事請負費152,750千円）

3 30年度予算

(1) 予算額

67,720千円

（実施設計費 7,130千円、施工監理費3,810千円、工事請負費 56,780千円）

〈緊急防災・減災事業債67,300千円〉

(2) 事業内容

事業内容	対 象 校	対象施設
実施設計	港中学校、竹野中学校、出石中学校、 但東中学校	屋内運動場、武道場
改修工事	豊岡南中学校、豊岡北中学校、城崎中 学校、日高東中学校、日高西中学校	屋内運動場
施工監理		

担当課名【教育総務課】（内線2701）

施策体系番号 4-1-3-1

No.69	事業名 山名氏城跡整備	30年度 予算額	3,311 千円	新規 拡大 継続
-------	-------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

山名氏城跡（有子山城跡・此隅山城跡）は、室町時代の有力大名であり、但馬地域を治めていた山名氏の居城である。我が国の中世の政治史と城郭史を示す貴重な遺跡として平成8年に国史跡に指定された。

平成27年に豊岡市が策定した整備基本計画（改訂版）に基づき、この史跡の保全及び見学者の安全のための整備を進める。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 保存管理のための遺構の調査
- ② 崩落箇所等の補修
- ③ 見学者の安全のための整備
- ④ 雑木の伐採
- ⑤ 管理道、見学路等の維持管理
- ⑥ ガイダンス施設の整備



(2) 事業期間

平成27年度～平成41年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

82,500千円（国庫50%、県費25%、市25%）

3 30年度予算

(1) 予算額

3,311千円（国庫50%、県費25%、市25%）

(2) 事業内容

- | | |
|--------------------|---------|
| ① 有子山城跡第6曲輪石垣の補修 | 2,000千円 |
| ② 有子山城跡第4曲輪土砂流出防止 | 800千円 |
| ③ 管理道、看板修理、雑木の伐採業務 | 511千円 |

4 その他参考事項

山名氏城跡整備基本計画（改訂版） 平成27年7月策定

担当課名【教育総務課文化財室】（内線5421）

施策体系番号 5-1-2-2

No.70	事業名 但馬国分寺跡整備	30年度 予算額	26,321 千円	新規 拡大 継続
-------	--------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

史跡但馬国分寺跡周辺地域は、奈良・平安時代に但馬国府や国分尼寺などが置かれ、但馬地域の政治・経済・文化の中心地であったことから、その歴史的価値が高く評価され、国史跡の指定がなされている。

この貴重な文化遺産を国民共有の財産として保存し、教育的活用や文化的環境創造（郷土愛を深める場）の活用に供する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

史跡保存にかかる指定地の買上げ及び保存整備を行う。

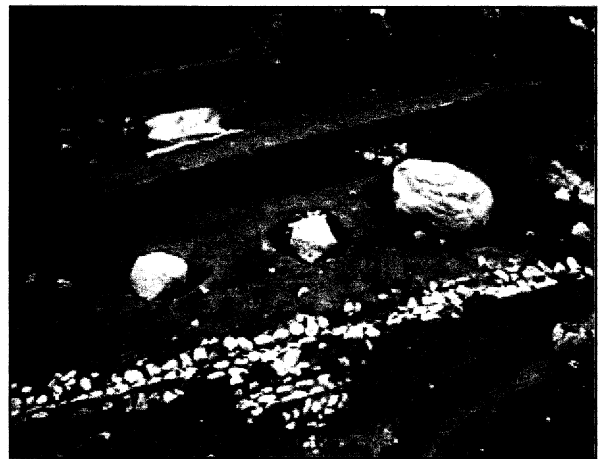
(2) 事業期間

平成2年度～

（史跡整備は平成27年度～平成42年度）

(3) 事業主体

豊岡市



【国分寺七重塔跡】

(4) 全体事業費（買上げ事業と史跡整備事業）

1,205百万円（平成29年度までの額）

<補助率> 史跡買上げ（国庫80% 県費20%の1/3 市20%の2/3）

3 30年度予算

(1) 予算額

26,321千円

(2) 事業内容

- ① 史跡整備委員会の開催、但馬国分寺跡発掘調査にかかる現地指導
- ② 公有財産購入…2筆(198.33㎡)、物件移転補償…木造店舗宅、工作物等一式

4 その他参考事項

- ① 但馬国分寺跡保存管理計画・整備基本計画（平成24年3月策定）
- ② 但馬国分寺跡整備基本設計（平成27年3月策定）

担当課名【教育総務課文化財室】（内線5421）

施策体系番号 5-1-2-2

No.71	事業名 歴史博物館リニューアル	30年度 予算額	26,307 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市内の歴史・文化財に関する史料を収集、保存、展示活用して、ふるさと教育・文化の発展に博物館が寄与するため、市民が親しみを持ち、来館しやすい施設にする。

2 全体の事業内容

(1) 内容

「但馬国府・国分寺館」のテーマ展示から、ふるさと「豊岡の宝もの」を楽しみながら伝える「豊岡市立歴史博物館」としての充実を図る。

(2) 事業期間

平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 30年度予算

(1) 予算額

26,307千円

（合併特例債 24,800千円）



総合学習室イメージ

(2) 事業内容

- ① これまでの但馬国府・国分寺をメインとするテーマ館から、市の成り立ちを学習できるわかりやすく、親しみやすい展示にリニューアルする。
- ② 多彩な事業を実施できるよう総合学習室を整備する。
- ③ 日高庁舎と分散していた事務室を集約することとし、館内に新たな事務室を設け、文化財にかかる職員と業務を集中させ、市民サービスの向上を図る。
- ④ 業務の効率化と通信費の軽減を図るため、内線電話新設工事と中庭漏水対策修繕を行う。

担当課名【教育総務課文化財室】（内線5421）

施策体系番号 5-1-2-2

No.72	事業名 校務支援システムの導入	30年度 予算額	43,080 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

教職員の職務については、時間的、精神的負担の増大が課題となり、教育の質の確保・向上の観点からも、「学校における働き方改革」を早急に進めていく必要がある。

豊岡市においては策定した『「学校における働き方改革」推進方針』に基づき、業務改善を推進するため校務支援システムを導入し、業務の効率化と教育の質の向上を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

豊岡市立のすべての小中学校に成績処理、出欠管理、保健管理、指導要録、学籍関係などの機能を有する「統合型校務支援システム」の導入を行う。

(2) 事業期間

平成30年度～平成35年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

59,693千円

導入経費 43,080千円（初年度）

保守管理経費 16,613千円（平成31年度から5年間の総額）

3 30年度予算

(1) 予算額

43,080千円

(2) 事業内容

統合型校務支援システムの導入

4 その他参考事項

統合型校務支援システムでは、児童、生徒に関して入力したデータを成績処理、出欠管理など複数の機能や帳票に連携することが可能で、これにより出席簿や通知表・指導要録等の帳票作成にかかる事務の軽減や、校務の効率化が図れる。

当課名【こども教育課】（内線2725）

施策体系番号 4-1-3-2

No.73	事業名 私立保育所等の振興	30年度 予算額	132,786 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

私立保育所、私立認定こども園、私立小規模保育事業所等を運営する社会福祉法人等の安定的な運営に寄与することで、幼児教育・保育の量が確保され、またその質が向上することを目的とする。

また、保育ニーズの増加に伴い公私立ともに園の保育士確保が課題となっていることから、さらなる保育士確保を目指す。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 私立保育所等の運営に係る経費及び施設管理に係る経費の一部を補助する。
- ② 豊岡市保育協会（市内で保育所等を運営する社会福祉法人等で構成）と協働し、都市部に集中している大学等保育士養成校への直接訪問により豊岡へのU Iターンによる保育士確保のための広報活動を行う。

(2) 30年度予算額

- ① 私立保育園等補助金【132,731千円】
 - ア 認可保育所等運営事業補助金 (78,271千円)
事務職員・保育士等人件費、保育事業費、敷地借上料・地域活動事業費等の一部を補助する。
 - イ 障害児保育事業補助金 (26,426千円)
特別な支援が必要な児童（保育認定児）の受入れに伴う定数外の職員人件費の一部を補助する。
 - ウ 重度食物アレルギー児対策事業補助金 (10,500千円)
食物アレルギー児の受入れに伴う定数外の調理員人件費の一部を補助する。
 - エ ひょうご保育料軽減事業補助金（県：第3子10/10、第2子1/2） (4,572千円)
多子世帯等（所得制限等一定の条件を満たす世帯）の保育料を軽減する。
 - オ 4・5歳児特別対策事業補助金 (4,000千円)
幼稚園未設置地域の保育所で校区内の4・5歳児全員を受入れ幼稚園教育を行う保育所の人件費の一部を補助する。
 - カ 託児保育者補助金 (625千円)
保護者の委託により児童の保育を行う認可外保育所に対し、保育に要する経費の一部を補助する。
 - キ 施設整備支援補助金 (8,337千円)
国県補助事業の対象とならない法人が整備する保育所施設の減価償却費の一部を補助する。
- ② 保育士確保のための大学等養成校への広報活動【55千円】

担当課名【こども育成課】（内線2531）

施策体系番号 4-1-1-5

No.74	事業名	子ども子育て支援交付金等 を活用した私立保育所等の 振興	30年度 予算額	77,664 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

子ども子育て支援交付金等の国県制度を活用し、私立保育所、私立認定こども園、私立小規模保育事業所等を運営する社会福祉法人等への支援を通じて仕事と子育ての両立を容易にし、子育ての負担感を緩和するような環境整備を推進する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 私立保育所等における延長保育事業や一時預かり事業等のための人件費等保育に係る経費や、保育の質の向上のため保育者が参加する研修受講経費の一部を補助する。
- ② 子ども子育て支援事業計画に基づき幼児教育・保育の受入れ拡大を図るため、小規模保育事業所を開設する経費の一部を補助する。

(2) 30年度予算額

- ① 私立保育所等の保育経費等の支援【61,164千円】
 - ア 延長保育促進事業補助金（国1/3・県1/3）（17,002千円）
保育時間終了後に保育時間を延長して園児を預かる延長保育のための職員人件費等必要経費の一部を補助する。
 - イ 一時預かり事業補助金（国1/3・県1/3）（40,191千円）
家庭において保育を受けることが一時的に困難になった就学前の乳幼児について、一時的に預かり保育を行うための職員人件費等必要経費の一部を補助する。
 - ウ 認定こども園特別支援教育保育事業補助金（国1/3・県1/3）（1,599千円）
特別な支援が必要な児童（教育認定児）が在籍する認定こども園において、その受け入れに伴う職員人件費等必要経費の一部を補助する。
 - エ 実費徴収に係る補足給付事業補助金（国1/3・県1/3）（204千円）
低所得等生活が困難な家庭の児童が園行事等に参加するために必要な費用の一部を補助する。
 - オ 保育の質の向上のための研修事業補助金（国1/2）（2,168千円）
質の高い保育を実施するための研修に参加する職員の受講経費の一部を補助する。
- ② 小規模保育事業所開設経費等の支援【16,500千円】
 - 小規模保育改修費等補助金（国2/3）（16,500千円）
賃貸物件等を活用して小規模保育事業所を新設するために必要な改修経費の一部を補助する。

担当課名【こども育成課】（内線2531）

施策体系番号 4-1-1-5

No.75 事業名 待機児童解消対策の検討	30年度 予算額	9,175 千円	新規 拡大 継続
-----------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

保育ニーズの高まりにより待機児童が増加している中、平成32年度から実施される予定である3～5歳児の幼児教育無償化（5歳児の無償化は平成31年度から先行実施予定）により、さらに大幅に保育の需要が増加することが見込まれることから、保育士等の確保対策などを早急に検討し、待機児童解消を推進する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

① 保育士等確保推進事業

待機児童解消対策の最優先課題である保育士等の確保を推進するため、保育所等を「働きやすい職場」、「働きたい職場」に変革できる業務改善策を2か所のモデル園において試行し、効果的な施策をとりまとめて市内全園に広げる。

② 保育ニーズを把握するための保護者意識アンケート調査

③ 就学前施設のあり方の検討

保育の受け皿の確保と質の高い幼児教育・保育の実践強化のため、就学前施設のあり方について検討を行う。

(2) 事業期間 平成30年度～平成32年度

(3) 事業主体 豊岡市

(4) 全体事業費 24,945千円

3 30年度予算

(1) 予算額 9,175千円（ひょうご地域創生交付金 1/2）

(2) 事業内容

① 保育士等確保推進事業（業務委託料、事務費）

② 保護者意識アンケート調査（業務委託料）

③ 就学前施設のあり方の検討（事務費）

4 その他参考事項（保育士等確保推進事業の内容）

(1) モデル園事業の主な内容

① 業務の効率化施策の検証（ICTの活用、事務のシステム化等）

② 短時間勤務者の受入れによるワークシェアの検証

③ 配置人数と就労時間の適正化の検証

④ 質の高い幼児教育・保育の展開と両立する業務効率化施策の検証

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

施策体系番号 4-1-1-5